

# 外国人や高齢の患者様との コミュニケーションエラーを防ぐために。

## 施設情報

設立 : 1990年  
業種 : 病院  
所在地 : 愛知県安城市  
病床数 : 420床

### 製品

Cotopat® Screen (コトパット スクリーン)

### 設置場所

健診センターの窓口

## 病院窓口でのコミュニケーションエラーが大きな課題

愛知県にある八千代病院は、地域医療を支える総合病院です。

地域住民が健康診断で訪れる健診センター窓口にて「Cotopat® Screen」を導入いただきました。

同病院では、外国人や高齢者の患者様とのコミュニケーションエラーが大きな課題として認識されていました。病院窓口でたびたび起こっていた“正確に伝わらない”問題を解消すべく、本製品を導入いただきました。日本語で意思疎通が難しい外国人や、会話が聞き取りづらい高齢者の方との円滑なコミュニケーションを期待されています。



## 導入経緯

### ? 導入背景

・外国人や高齢者の患者様とのコミュニケーションエラーが大きな課題

### 👉 導入の決め手

- ・会話内容がリアルタイムに字幕表示される点
- ・音声認識率の高さ
- ・医療用語の字幕表示が対策可能

## 患者様への連絡・伝達ミスを防ぐ対策として期待

健診センターの窓口において、人間ドッグ・健康診断の説明や場所案内時の活用を想定。外国人や高齢者の患者様の理解不足や迷いをなくし、安心して健康診断を受けられる環境の整備を目指されています。

また、キーワードを事前登録することで、専門的な医療用語も字幕表示でき、正確な情報伝達を実現。Cotopat® Screen導入を、伝達ミスを防ぐ対策として期待いただいています。



上図は、健康診断のご案内を英語翻訳して表示したイメージです